

ふれあい大学 35期会 会報 NO9

2023年9月19日発行

ふれあい大学35期会 総務

活動報告

《教養講座本多静六博士と Well-being》



講師 渋谷克己先生



令和5年7月5日、教育センター内視聴覚ホールにおいて開催した教養文化講座は、久喜市出身で日本の公園の父と謳われた本多静六博士について、「本多静六博士を顕彰する会会長 渋谷克美様」から講演をいただきました。「本多静六博士」は、慶応2年（1866年）武蔵国埼玉郡河原井村（現久喜市）に誕生ということで、春日部にも

近く、身近に感じました。父親が40歳という若さで亡くなりましたが、一千円の借金が残り窮乏生活に陥りました。明治22年本多家の婿養子となり、翌年ドイツに留学、明治25年ミュンヘン大学で博士号を取得し帰国。現在の東京大学農学部の助教授に就任。明治32年論文「森林植物帯論」で日本最初の林学博士になりました。国立公園や日本各地の数百に及ぶ公園の設計監修に携わり、特に日本最初の洋式公園の日比谷公園、明治神宮の森づくり、軽井沢遊園地、大宮公園の改良設計など、どれも行ったことのある公園だったので関心を持って聞き入りました。その他博士は「4分の1貯金」や「1日1ページ執筆」で得た資財や退職金は奨学金の創設、学生寮の建設など埼玉県出身の学生のために使い果たしたといわれています。博士の格言「人生即（すなわち）努力。努力即幸福」。幸福の大切な要素である心身の健康をはぐくむ場として、また社会や人との良好な関係を築く場としても公園は必要である。さらに施設の整った公園を整備すれば、大勢の観光客を呼び寄せることができ、社会経済文化活動の向上にも大きく役に立つと言っています。今回写真をふんだんに取り入れたパワーポイントで丁寧に詳しく説明していただきました。次は、博士を支え日本で4番目の女医となった妻詮子さんについて、機会があればお話をお伺いしたいと思います。



教養文化部
高橋早智子

《ボーリング大会》



準優勝 関矢さん 優勝 吉本さん 3位 塩野さん
春日部ターキーボールで4年ぶりのボーリング大会を開催しました。午前10時、最初に準備運動としてラジオ体操を行い、練習投球後プレー開始。いつもの、豪快にピンが倒れる音、拍手、歓声。本人の意思に反し無常に溝を転がるボール、落胆、ため息。といつもの光景が繰り広げられ、それなりに楽しんで頂けたと思います。投球中に転倒した方もいたようでしたが、怪我無く無事に終了してホットしました。終了後は優勝、準優勝、3位、5位、10位、15位、ブービー賞の表彰式が行なわれました。

成績 (2ゲーム合計 女性ハンデ60点)

優勝	吉本英子さん	337点
準優勝	関谷隆夫さん	332点
三等賞	塩野光高さん	325点

ハイスコア 塩野光高さん 189点(1ゲーム)
3名とも春日部ターキーボールの会員です。さすが日々の努力は結果に現れます。

平成30年の第1回ボーリング大会の参加者は54名、令和元年の第2回大会の参加者は51名、今回の参加者は16名となりました。60才代が減り、70才以上が中心となって来た現在、今回が最後のボーリング大会になるかもしれません。今後は足、腰に負担の少ない行事の検討が必要と思います。



健康・スポーツ部 丹野 裕次

《ボランティア集団『花』(影絵)》



影絵って何でしょう？ 子供たちがこたつでの親子の遊びとして行われていたことが多かった時代から現在(令和『花』影絵)で行なっている方法は、OHP やシルクスクリンを使ってとても見易くなっている。主な活動は、影絵を通して老人介護施設、障がい者施設、高齢者学習施設等との連携を図り、レクリエーション活動及び学習活動の支援を行う。

メンバーは男性5名、女性5名 計10名
演目は、4部構成で約1時間半

一部 前座 皿回し、回想法カウンセリング、クイズ、歌など。

二部 切り絵による影絵の鑑賞。

三部 歌、体操など。

四部 『モチモチの木』 齋藤隆介 作
滝平二郎 絵。

5年余りの活動を通して、地域社会に生かす活動ができ始めた。活動を依頼する件数が月を追うごとに増えて、リピーターが増え、予約待ちも出るようになってきた。良い作品を一生懸命練習して作り上げる、それを見て依頼主が喜ぶ、それを見て私達が喜ぶ。ボランティア活動ってそんなものかもしれません。団を設立した当初は、名前も知られていない「ボランティア集団『花』(影絵)」が3年間の短い間に31回も影絵の上演を依頼されるような団に成長できるなんて誰が考えただろうか。それは、団員の努力と地域の協力があつたからに他ならない。「影絵の花」この言葉がそれを物語っている。地域に愛され気軽に使って下さるボランティア集団になってきているのである。

いずれにしてもまだ切磋琢磨の段階であり結論には達していない。新しい発想を持って自分達も依頼主も喜ぶことのできる何かを作らなければならない。経済的な課題、新しい技術の習得など今後の課題は多いが慌てず、急がず、のんびりと。自分の周りの人たちとやってこなかった事を話したいものだ。



3班 矢崎 兼久 (団塊の世代誕生)

《令和5年度 第6回総会》



令和5年6月27日第6回定期総会も皆様のご協力でご承認いただきありがとうございました。会員数は64名です。本当に元気で楽しめる年齢って何歳まで・・・80代？ 90代？ 100代？本当に貧欲にならないと年を重ねるごとに世界がどんどん狭くなってしまふ。自分から動かないといけない。皆さんはそれぞれの趣味をお持ちで、一步踏み出して新たなことに打ち込んでおられる方も多いと思います。益々元気な活動をお願いします。今期 役員21名で会を運営し、活動を通じて、会員相互の親睦をより深めたいと思っておりますのでご協力の程宜しくお願いいたします。

会長 三木 榮二

総務・地域ボランティア部

部長（副会長） 関根 信一

副部長・書記 鈴木 隆夫

幹事・書記 古垣 一美

幹事・会計 塩野 光高

幹事・会計 中西 友久

幹事 菅原 唱子

幹事 角 恵美子

教養・文化部

部長（副会長） 白根 秀一

副部長・書記 益子 美智子

幹事（会計監査） 前川 節子

幹事 矢崎 兼久

幹事 濱野 秀子

幹事 高橋 早智子

健康・スポーツ部

部長（副会長） 丹野 裕次

副部長・書記 浅井 克己

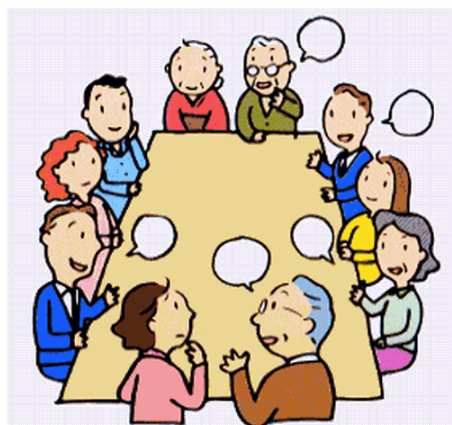
幹事（会計監査） 門田 晴臣

幹事 山崎 清子

幹事 郷古 光子

幹事 橋本 静子

幹事 田中 迪子



三木 榮二会長

編集後記：今回は、新たな試みとして影絵の活動で活躍されている3班の矢崎さんにスポットをあてて紹介しました。他にも各分野で活躍されている方紹介しますのでぜひお知らせください。 総務部 関根